

我が国に多いがんに対する診療機能

記載の有無
※表紙①に反映されます あり

病院名: 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

期間: 平成26年9月1日現在

※原発巣に記載すること。

1. 肺がん

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
※別紙5に入力した内容が反映されています。
※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
○: あり ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日									各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法				光線力 学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーして ください	掲載されている内容			
				開胸 手術	胸腔鏡 下手術		体外 照射	定位 放射線 療法	小線源 治療				治療内容	治療実績	医師の 専門 分野	
1 肺腫瘍内科	2	2	状況 実績	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	× なし	× なし	肺腫瘍内科では、近年増加傾向にある肺癌に代表される呼吸器腫瘍性疾患に対して、最新鋭のCTやMRI、核医学的検査等の先進画像技術の導入と気管支鏡、胸腔鏡により、診断の向上を目標とし、治療面では化学療法を中心に新規抗がん剤(保険診療内)や分子標的薬を積極的に使用しています。	ア イ	肺腫瘍内科 http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/01_sinryo/hos/haishuyo/index.html http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 呼吸器外科	2	2	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	× なし	× なし	一般に診断が困難な微小肺癌の診断、治療も積極的にを行い、特に早期例では、胸腔鏡手術区域切除などの低侵襲手術を目指しています。一方、進行例では、腫瘍内科、放射線科と連携し化学療法や放射線治療などを組み合わせた集学的治療を行い、有効例に対しては、切除可能な場合積極的に根治当院は平成20年10月に、放射線治療センターが新設され、主に悪性腫瘍(がん)を対象に放射線治療をおこなっています。又、新病院開院時より、リニアクを導入し、年間約250名の治療をおこなってきました。また、エクスナイフを用いた脳腫瘍に対する定位放射線治療や骨髄移植の前処置としての全	ア イ	呼吸器外科 http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/01_sinryo/hos/r-surge/index.html http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3 放射線科	2	2	状況 実績	× なし	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	× なし	放射線治療センター	ア イ	http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/01_sinryo/hos/radio_tiryo/index.html http://	掲載なし	掲載あり	掲載あり
4			状況 実績									ア イ	http:// http://			
5			状況 実績									ア イ	http:// http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 肺がん 肺がん
------------------------------------	---------------